

ユネスコスクール実践活動事例

末広小学校のアイヌ文化学習・生活科・総合的な学習・特別活動における実践

千歳市立末広小学校 校長 若命 泰寛

1. 本校の ESD 活動の趣旨

千歳市は、北海道が蝦夷地と呼ばれた頃より東西を結ぶ要所であり、千歳川周辺にはサケや鹿など豊富な資源にも恵まれたことから多くアイヌの人々が集落を構え、現在でも市内に多くの方がおられる。

本校では平成5年にアイヌ文化を学ぶ実践が初めて行われ、平成8年には地域文化資料室としてアイヌ住居「チセ」の模型を設置、生活科・総合的な学習のカリキュラムに位置づけた「アイヌ文化学習」が本格的に始まった。平成23年～25年には「北海道ふるさと教育推進事業」の指定を受け、平成29年～30年にも「北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業」の指定を受けた。

アイヌの人々の文化には、命の大切さ、自然との共生、郷土の歴史学習への興味関心、環境、食、人権など幅広い教育的価値が内在し、本校のアイヌ文化学習は、「自然や命を大切に作る心・生き方」の学びとして、持続可能な社会の創造や異なる価値観を持つ人間同士の相互尊重・共生をその目標に掲げている。

アイヌ文化学習の他には、主に生活科や総合的な学習の時間で、地域の方や障がいのある方の協力を得ての交流・福祉学習、市内施設等の福祉に関する調べ学習、異年齢児童の相互理解や協力の場合、国際理解教育などを通し、「人とのかかわりを深めながらの、身近な自然・社会・文化の学び」に充実に努めている。また特別活動として、児童会などが中心となり、エコ活動やユネスコスクールとしての認識を深めるための活動にも取り組んでいる。

2. 全体計画・活動の概要

学年	アイヌ文化学習			生活科 総合的な 学習の時間	特別活 動など
	ねらい	時数・内容	領域		
1年	アイヌの人たちについて知り、遊びや歌を通し表現の喜びを持つ。	・チセ探検 ・歌、ホリッパ ・絵本読み聞かせ ・笛づくり遊び		【1年生】 ・地域お年寄りと交流(昔遊び) ・幼児学級で就学前児と遊ぶ ・外国語活動 【2年生】 1年生を招待しての遊び ・外国語活動 【3年生】 ・サケと千歳川 ・手話体験 【4年生】 ・千歳の水 ・聴覚障害体験 【5年生】 ・稲作体験 【6年生】 ・福祉学習(調べ学習・車椅子体験) 【全学年】 ・なかよし集会 ・なかよしランチ	ECO ボラン ティア 活動 ユネ スコ スク ール 活 動 に つ い て
2年	身近にある自然物で装具を作り遊ぶ。歌や踊りを通して表現の喜びを持つ。	・歌、ホリッパ・民話語り ・アイヌの子ども遊び(道具づくり・遊び体験)			
3年	サケに関する学習を通しアイヌの人たちの暮らしの工夫や苦労を理解する。	・歌、ホリッパ ・サケ漁解体学習・地名学習 ・アイヌ料理(チェブワウ)			
4年	昔のアイヌの人たちの食物の栽培、収穫、調理を通し工夫や苦労を理解する	・歌、ホリッパ ・保存食学習 ・付け栽培収穫、団子づくり			
5年	自然素材で伝統的技術を用いた生活用具づくりを通し知恵や工夫を理解する。	・歌、ホリッパ ・シナキ(皮はがし、イウ削り皮糸より)飾りづくり			
6年	ムックリづくりやアイヌの人たちの歴史学習を通し工夫や苦労を考え、アイヌ文化学習をまとめる。	・歌、ホリッパ ・ムックリづくりと演奏 ・アイヌの歴史と人権学習 ・アイヌ文様刺繍 ・アイヌ文化学習のまとめ			

3. 活動事例

【アイヌ文化学習から】



<1年生 チセ探検>



<1年生 ホリッパ練習>



<2年生…アイヌ遊び体験>



<運動会での全校ホリッパ…保護者も入って約1000人規模での踊り>

<3年生チェポオハウ作り>



<3年生サケ漁>



<5年生シナノキ皮むき>



<6年生ムックリづくり>



<4年生イナキビ団子づくり
保存食学習>



<ECOボランティア活動>

4. 活動の成果・課題

【成果】

- ・体験をもとにした学習内容を充実させることで、実感のある学びとなった。
- ・地域の人材・環境の幅広い活用を通して、ふるさとのことについてよく知り親しみを持つ心育て、多様な歴史、文化などへの興味や関心を高めることができた。
- ・地域とのつながりを強めたり、保護者の理解が高まるなど、開かれた学校づくりの推進が図られた。
- ・自然に感謝し、大切にしようとする気持ちを持たせることができた。

【課題等】

- ・地域人材の高齢化等が進んでいることから、新たな協力者などの発掘や自校で賄える指導のあり方などの改善をしていく必要がある。
- ・次期学習指導要領改訂に対応した、総合的な学習などの内容、他教科の時数確保を見直しを行っていく。